

ワークシート

～事業者向け動画(Nスクール ver.) 04 財務パート～

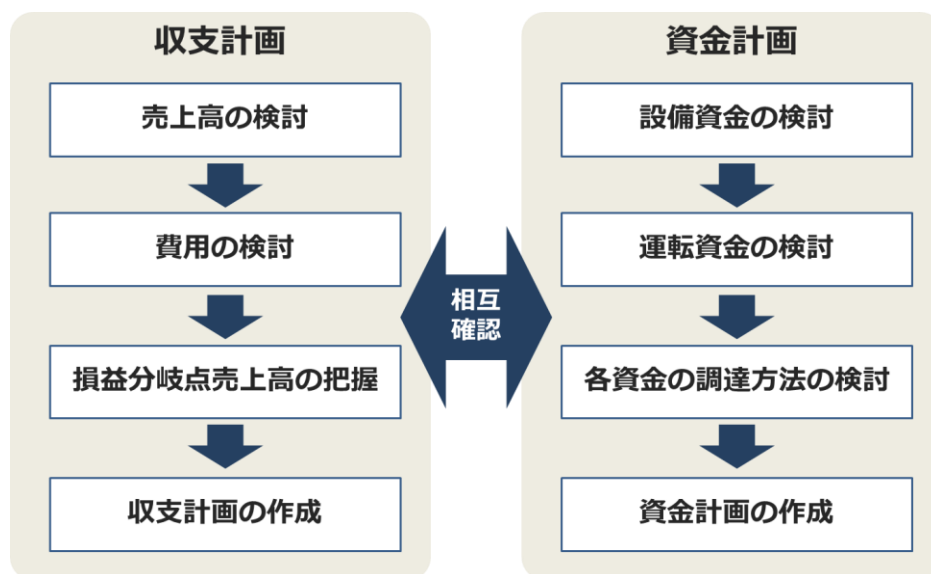
1. ワークシート

◆ワークシートの運用に関して

動画の内容を参考に、まずは一度ご自身でじっくりと考えながら作成に望んでください。その後、検討において明確になった要素や疑問点について、支援機関等と相談しながら取り組むことでより一層の理解促進が期待できます。ワークシートの目的や検討方法が理解できたにも関わらず、作成が進まないといった場合は、事業の中身が具体化していない、あるいは絶対的な正解を追及するあまり考えが広範となり、要素をまとめることができない等の状況が考えられます。大前提としてワークシートの内容に正解はありません。必要に応じ人材や経営編の検討結果を見直すこと、そこから検討しやすい部分からでも良いので、まずは埋めてみることを意識して取り組んでください。

※動画で紹介していないシートも必要に応じてご活用ください

(1) 財務編のワークシートの全体構成図



(2) 売上高検討用シート

売上高検討用シート内の項目はよく利用される代表的なものを予め入力しています。項目は事業内容を加味しながら自由に入れ替えや変更を行って活用ください。

<小売業等>

1日の客数	平均客単価	営業日数	月間売上高
×	×	=	

<飲食・サービス業等>

席数	回転数	平均客単価	営業日数	月間売上高
×	×	×	=	

<製造業等>

日産加工量	平均加工単価	稼働日数	月間売上高

<法人向け(BtoB)>

月間商談数	商材平均単価	受注率	月間売上高

(3)費用検討用シート

項目		金額	分類(固定費・変動費)
売上原価			
経費			

変動費合計	
固定費合計	

(4)損益分岐点売上高の把握

①	売上高	
②	変動費計	
③	固定費を回収するための利益 (= 限界利益) ①－②	
④	限界利益率 ③÷①	
⑤	固定費計	
⑥	損益分岐点売上高 ⑤÷④	

(5)収支計画検討用シート

下記ワークシートに検討した金額と項目を入力してください。

複数パターン(標準プラン+想定以上+想定以下など)を作成し、多面的に検討してください。

スペース上、事業開始から6ヶ月までの表記となっていますが、必要に応じ1～3年単位など、任意で期間を延ばして検討してください

	1 か月後	2 か月後	3 か月後	4 か月後	5 か月後	6 か月後
売上高 ①						
売上原価 ②						
経費						
()						
()						
()						
()						
()						
利益 ①－②＝③						

	1 か月後	2 か月後	3 か月後	4 か月後	5 か月後	6 か月後
売上高 ①						
売上原価 ②						
経費						
()						
()						
()						
()						
()						
利益 ①－②＝③						

	1 か月後	2 か月後	3 か月後	4 か月後	5 か月後	6 か月後
売上高 ①						
売上原価 ②						
経費						
()						
()						
()						
()						
()						
利益 ①－②＝③						

<各金額の算出根拠> ※収支計画に入力した金額の算出根拠を記載してください。

(6)必要資金と調達方法の検討

下記ワークシートに収支計画を参考にしながら検討した項目を入力します。検討の際は、収支計画と資金計画を相互確認しながら矛盾等が無いかを確認しながら取り組んでください。
資金計画についても、複数パターン(標準+想定以上+想定以下など)を作成し、多面的な検討を行ってください。

項目		金額	金額	項目	
設備資金					自己資金
運転資金					借入金・他
合計				合計	

※借入の場合、自己資金は30%を目安に用意しましょう

※資金は事業活動において本当に必要なのか十分に検討を行いましょう

<検討手順>

- ①設備資金（開業に必要なものとその金額）を検討
- ②運転資金（事業安定までに必要な金額や開業に伴う販促費等）を検討
- ③設備・運転資金の調達方法を検討